



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社セキュア 上場取引所 東
 コード番号 4264 URL https://www.secureinc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 辰成
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 佐藤 仁美 (TEL) 03 (6911) 0660
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|-------|------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第2四半期 | 2,634 | 70.4 | 201 | — | 197 | — | 165 | — |
| 2022年12月期第2四半期 | 1,545 | — | △34 | — | △36 | — | △87 | — |

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 179百万円(—%) 2022年12月期第2四半期 △83百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第2四半期 | 34.96 | 33.37 |
| 2022年12月期第2四半期 | △18.71 | — |

(注) 1. 2021年12月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2022年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第2四半期 | 2,557 | 1,026 | 40.1 |
| 2022年12月期 | 1,993 | 842 | 42.3 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 1,026百万円 2022年12月期 842百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年12月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,400 | 30.0 | 130 | — | 120 | — | 95 | — | 20.08 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年12月期2Q | 4,729,920株 | 2022年12月期 | 4,717,020株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年12月期2Q | 42株 | 2022年12月期 | ー株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年12月期2Q | 4,721,692株 | 2022年12月期2Q | 4,677,066株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注記事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行するなど、感染拡大防止のための行動制限が緩和されたことで経済活動が正常化に向かう一方、世界的な金融引き締めによる景気下押しリスクや、資材価格の高騰、円安を背景とした物価の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、コロナ禍における新しい生活様式の中でも「安心・安全に働く環境」を創出するため、最先端のAI（画像認識）技術とセキュリティ専門企業としての長年の実績・ノウハウを駆使し、最適なソリューションの提供に努めてまいりました。

売上高においては、「SECURE AC（入退室管理システム）」では、オフィスやデータセンターへの導入が順調に推移した結果、着実に導入企業数を増加させたとともに、計画に対して好調に進捗いたしました。また、2023年6月にクロノス株式会社と勤怠管理システムとの連携開発を行うために協業いたしました。勤怠記録の確認や修正の工数を減らし、労務管理の効率化や新しい働き方に向けた取り組みを進めてまいります。

「SECURE VS（監視カメラシステム）」では、リテール向けのリプレイス案件や物流施設への導入が順調に推移した結果、着実に導入企業数を増加させたとともに、計画に対して好調に進捗いたしました。また、河川、ダム、ため池、山間部の斜面など、今まで防犯・監視カメラの設置が進んでいなかった過酷な環境での需要に対応するために、2023年5月に厳しい環境下でも安定的に動作するLTEゲートウェイの技術を保有するアムニモ株式会社と資本業務提携を実施いたしました。

2023年4月には、業務のさらなる拡大と顧客ニーズに迅速に対応するため、広島オフィスを新たに開設いたしました。

また、2023年6月には、「SECURE AI STORE LAB」の事業化に向けた実証実験を行うことを目的として、2023年2月に業務提携したシリコンバレーのスタートアップAiFi Incの技術を活用した「SECURE AI STORE LAB 2.0」を新規開発・オープンし、AIによるレジレス・無人店舗を実現いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高は2,634,226千円（前年同四半期比70.4%増）、営業利益は201,107千円（前年同期は営業損失34,980千円）、経常利益は197,059千円（前年同期は経常損失36,910千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は165,069千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失87,507千円）となりました。

なお、当社グループは「セキュリティソリューション事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,557,693千円となり、前連結会計年度末に比べ564,692千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加275,637千円と、受取手形及び売掛金の増加271,046千円があったことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,530,865千円となり、前連結会計年度末に比べ380,003千円増加しました。これは主に、買掛金の増加225,686千円及び未払消費税等の増加57,660千円、前受金の増加44,435千円があったことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,026,828千円となり、前連結会計年度末に比べ184,689千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加165,069千円があったことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は749,832千円となり、前連結会計年度に比べ275,637千円増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は236,701千円(前年同四半期は185,016千円の支出)となりました。これは主に、仕入債務の増加225,686千円、税金等調整前四半期純利益の計上197,059千円があったものの、売上債権の増加271,046千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は17,313千円(前年同四半期は8,492千円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出10,013千円、有形固定資産の取得による支出6,474千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は55,563千円(前年同四半期は81,747千円の支出)となりました。これは主に、長期借入れによる収入150,000千円があったものの、長期借入金の返済による支出95,182千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日付「連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|-------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 474,194 | 749,832 |
| 受取手形及び売掛金 | 459,722 | 730,769 |
| 商品 | 621,042 | 624,221 |
| 仕掛品 | 16,434 | 45,132 |
| 前払費用 | 30,307 | 51,197 |
| 未収還付法人税等 | 11,225 | — |
| 未収消費税等 | 22,581 | 110 |
| その他 | 15,736 | 34,020 |
| 貸倒引当金 | △48 | △65 |
| 流動資産合計 | 1,651,197 | 2,235,218 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 64,959 | 65,155 |
| 工具、器具及び備品 | 104,505 | 107,940 |
| リース資産 | 4,237 | 4,237 |
| 減価償却累計額 | △75,523 | △84,738 |
| 有形固定資産合計 | 98,177 | 92,593 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 70,482 | 66,053 |
| リース資産 | 12,465 | 8,310 |
| その他 | 7,040 | 50 |
| 無形固定資産合計 | 89,987 | 74,413 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,823 | 18,836 |
| 敷金 | 118,881 | 118,090 |
| 繰延税金資産 | 22,632 | 16,569 |
| その他 | 3,301 | 1,971 |
| 投資その他の資産合計 | 153,638 | 155,467 |
| 固定資産合計 | 341,803 | 322,475 |
| 資産合計 | 1,993,000 | 2,557,693 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 227,230 | 452,916 |
| 短期借入金 | 200,000 | 200,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 130,304 | 149,924 |
| 未払費用 | 182,833 | 133,229 |
| リース債務 | 9,117 | 9,081 |
| 未払法人税等 | 4,784 | 41,963 |
| 未払消費税等 | — | 57,660 |
| 前受金 | 47,000 | 91,436 |
| 賞与引当金 | 30,783 | 37,331 |
| その他 | 6,854 | 6,713 |
| 流動負債合計 | 838,908 | 1,180,257 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 272,752 | 307,950 |
| リース債務 | 5,491 | 959 |
| 商品保証引当金 | 16,019 | 15,055 |
| 資産除去債務 | 5,170 | 5,170 |
| その他 | 12,521 | 21,472 |
| 固定負債合計 | 311,953 | 350,607 |
| 負債合計 | 1,150,861 | 1,530,865 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 536,808 | 539,447 |
| 資本剰余金 | 417,821 | 420,454 |
| 利益剰余金 | △110,309 | 54,760 |
| 自己株式 | — | △117 |
| 株主資本合計 | 844,320 | 1,014,544 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △3,948 | 9,790 |
| 為替換算調整勘定 | 1,766 | 2,334 |
| その他の包括利益累計額合計 | △2,181 | 12,124 |
| 新株予約権 | — | 160 |
| 純資産合計 | 842,138 | 1,026,828 |
| 負債純資産合計 | 1,993,000 | 2,557,693 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 1,545,864 | 2,634,226 |
| 売上原価 | 902,910 | 1,592,676 |
| 売上総利益 | 642,953 | 1,041,550 |
| 販売費及び一般管理費 | 677,933 | 840,442 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △34,980 | 201,107 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 6 |
| 為替差益 | 385 | 107 |
| その他 | 118 | 477 |
| 営業外収益合計 | 510 | 590 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,338 | 3,782 |
| その他 | 101 | 856 |
| 営業外費用合計 | 2,439 | 4,639 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △36,910 | 197,059 |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | △36,910 | 197,059 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 50,597 | 31,989 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △87,507 | 165,069 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △87,507 | 165,069 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △87,507 | 165,069 |
| その他の包括利益 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | 3,484 | 13,738 |
| 為替換算調整勘定 | 1,000 | 567 |
| その他の包括利益合計 | 4,484 | 14,305 |
| 四半期包括利益 | △83,022 | 179,375 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △83,022 | 179,375 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △36,910 | 197,059 |
| 減価償却費 | 25,718 | 28,364 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △11 | 17 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △3,666 | 6,547 |
| 商品保証引当金の増減額(△は減少) | △1,625 | △964 |
| 受取利息及び受取配当金 | △5 | △6 |
| 支払利息 | 2,338 | 3,782 |
| 為替差損益(△は益) | △643 | △232 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 155,088 | △271,046 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △346,671 | △32,014 |
| 未収消費税等の増減額(△は増加) | △21,812 | 22,470 |
| 前払費用の増減額(△は増加) | 3,710 | △19,456 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 63,048 | 225,686 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 1,260 | △50,091 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △44,076 | 57,660 |
| 前受金の増減額(△は減少) | 37,853 | 53,387 |
| その他 | 10,082 | 9,450 |
| 小計 | △156,323 | 230,614 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5 | 5 |
| 利息の支払額 | △2,426 | △3,886 |
| 法人税等の支払額 | △26,271 | △1,256 |
| 法人税等の還付額 | — | 11,225 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △185,016 | 236,701 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,127 | △6,474 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △5,863 | △440 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △10,013 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △501 | △148 |
| その他 | — | △236 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △8,492 | △17,313 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △100,000 | — |
| 長期借入れによる収入 | — | 150,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △64,805 | △95,182 |
| 株式の発行による収入 | 87,662 | — |
| リース債務の返済による支出 | △4,604 | △4,568 |
| 自己株式の取得による支出 | — | △117 |
| ストックオプションの行使による収入 | — | 5,271 |
| 新株予約権の発行による収入 | — | 160 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △81,747 | 55,563 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,643 | 685 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △273,613 | 275,637 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 675,933 | 474,194 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 402,320 | 749,832 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、セキュリティソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。